

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2023年 4～6月期の景況 / 2023年 7～9月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況はわずかに低下状況にある。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2023年4～6月期の実績と2023年7～9月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より▲2.2%の悪化となった。業種別では、製造業は▲35.0%から▲21.1%へ、小売業は27.8%から▲11.1%へと回復した。建設業は▲25.0%から▲40.7%へ、卸業は0.0%から▲9.5%へ、サービス業は8.3%から0.0%へと悪化した。

来期の新規設備投資については、今期と同様の見込みである。

経営上の問題点については、前回調査に引き続き「材料価格の上昇」や「仕入単価の上昇」が上位に挙げられた。小売業とサービス業では「人件費以外の費用の増加」が今期新たに挙げられた。また、製造業では5期連続で「生産設備の不足・老朽化」が上位に挙げられている。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景況変動に係る複数の指数を合成して算出する。

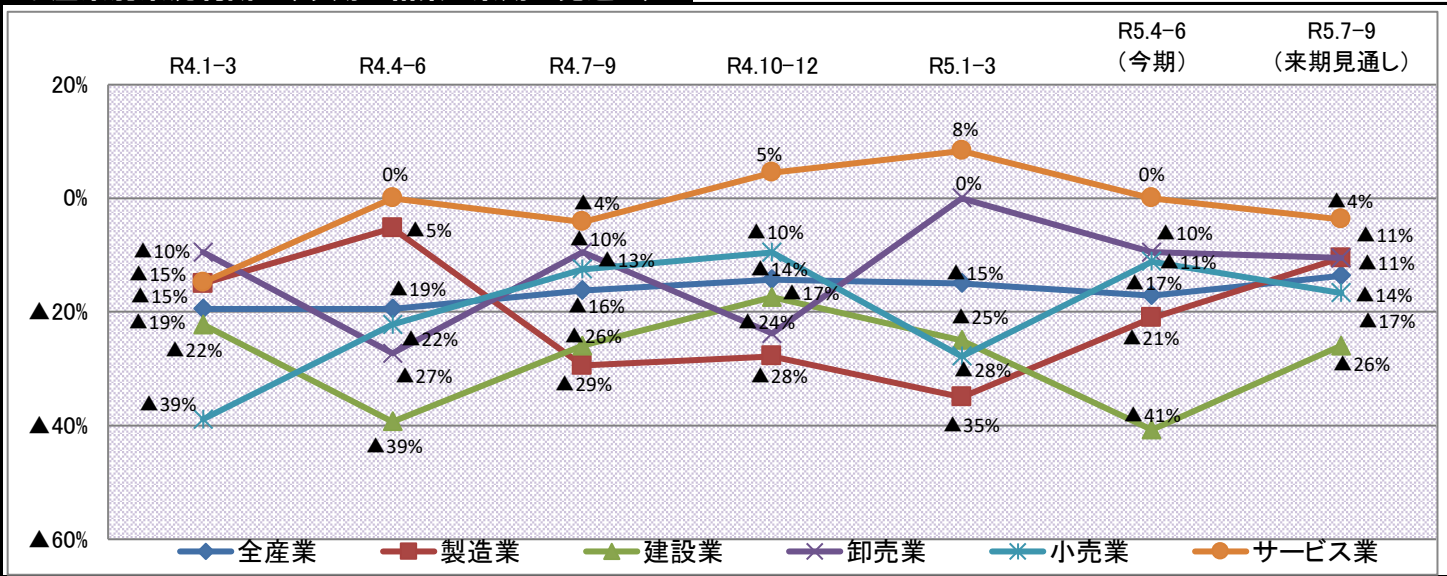
DATA

- 調査期間: 令和5年6月12日～6月23日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業130社
- 有効回答企業数: 114社(87.7%)

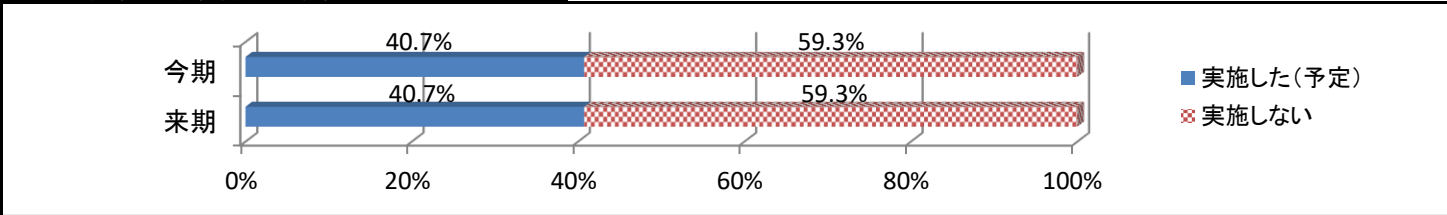
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲17.1%	▲2.2%	▲5.3%	▲1.6%	▲8.9%	2.18%	▲25.0%	1.9%	▲10.7%	▲5.2%
建設業	▲40.7%	▲15.7%	▲44.4%	▲23.6%	▲15.4%	▲11.0%	▲40.7%	▲19.9%	▲25.9%	▲21.8%
製造業	▲21.1%	13.9%	▲5.0%	4.5%	▲15.0%	27.9%	▲25.0%	32.1%	▲20.0%	▲5.7%
卸売業	▲9.5%	▲9.5%	19.0%	14.3%	0.0%	▲4.8%	▲14.3%	4.8%	0.0%	▲9.5%
小売業	▲11.1%	16.7%	▲16.7%	▲6.1%	▲11.1%	▲0.6%	▲17.6%	15.7%	0.0%	5.6%
サービス業	0.0%	▲8.3%	22.2%	5.6%	▲4%	0.5%	▲22.2%	▲13.9%	▲3.7%	8.8%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	製造業		建設業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	原材料価格の上昇	20.0%	従業員の確保難	22.7%	仕入単価の上昇	21.8%	仕入単価の上昇	20.8%	従業員の確保難	18.1%
2位	生産設備の不足・老朽化	15.0%	材料価格の上昇	16.0%	従業員の確保難	16.4%	消費者ニーズの変化への対応	12.5%	人件費以外の費用の増加	15.3%
3位	原材料費・人件費以外の経費の増加	13.3%	官公需要の停滞	13.3%	人件費の増加	14.5%	従業員の確保難	12.5%	材料等仕入単価の上昇	13.9%
4位	熟練技術者の確保難	10.0%	民間需要の停滞	12.0%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	10.9%	人件費以外の経費の増加	10.4%	人件費の増加	12.5%